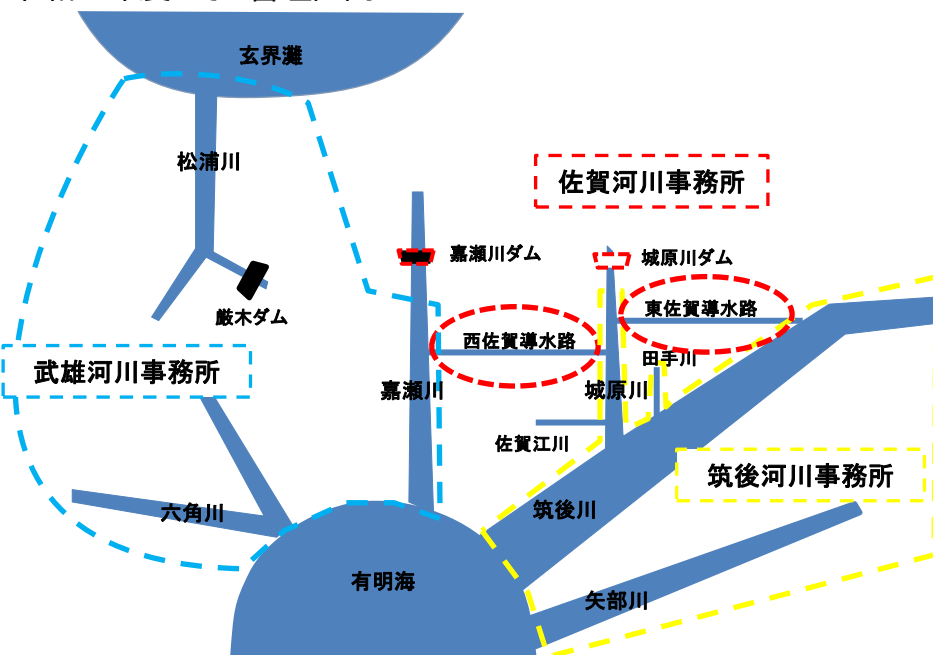


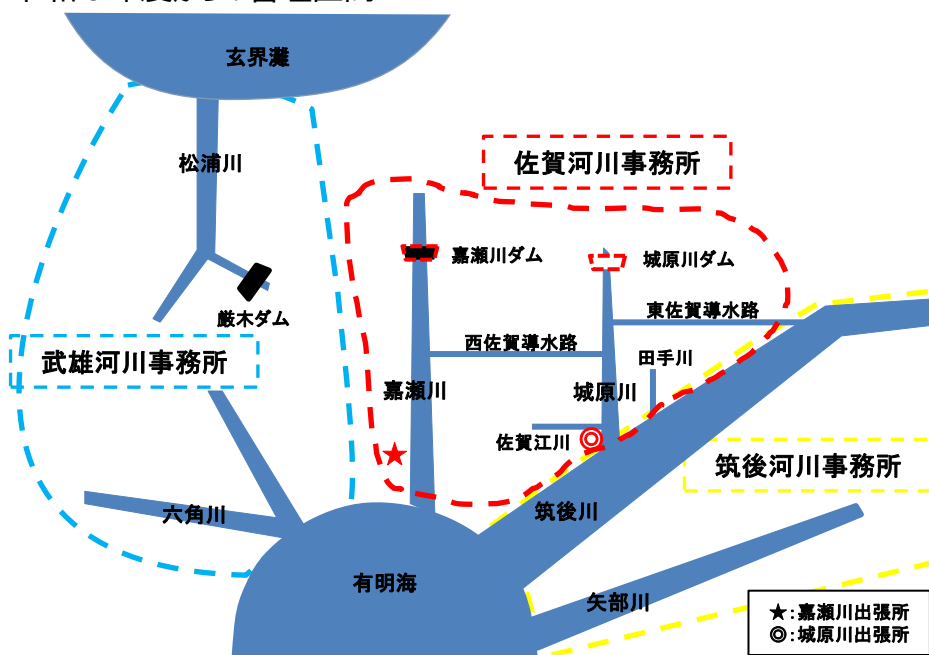
令和6年度からの佐賀河川事務所の組織

嘉瀬川及び城原川流域における治水・利水上の強化を行う目的で、近隣事務所との管理区間を再編。

令和5年度までの管理区間



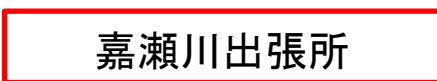
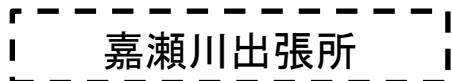
令和6年度からの管理区間



〔武雄河川事務所〕

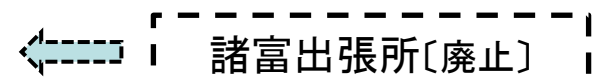
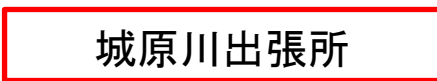
〔佐賀河川事務所〕

〔筑後川河川事務所〕

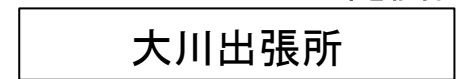


所掌業務の全部を移管

所掌業務の一部を移管



所掌業務の一部を移管



嘉瀬川ダム、佐賀導水路の管理及び城原川ダム事業に加え、
嘉瀬川、城原川、佐賀江川、田手川を追加所管

令和6年度 堰堤改良事業（佐賀導水路）

◆事業の概要

佐賀導水路は平成21年に完成し、洪水調節・内水被害の軽減排除、不特定用水及び水道用水の補給を目的とした施設です。

近年、特にポンプ施設の不具合が頻繁に発生していることから、出水時において安定的に施設機能が発揮できない恐れがあるため、施設の抜本的改良及び高度化等を実施し、信頼性・効率化等の向上を図り、また、併せて耐震化対策も実施します。

◆事業の目的

老朽化したポンプ施設の機能アップ（メンテナンス性向上、分散化）や遠隔制御の二重化等を実施し、故障等によるポンプ停止リスクの最小化を図ります。また、耐震化が必要な施設の耐震対策を実施します。

◆令和6年度の予定

ポンプ場更新設計、耐震対策設計

位置図



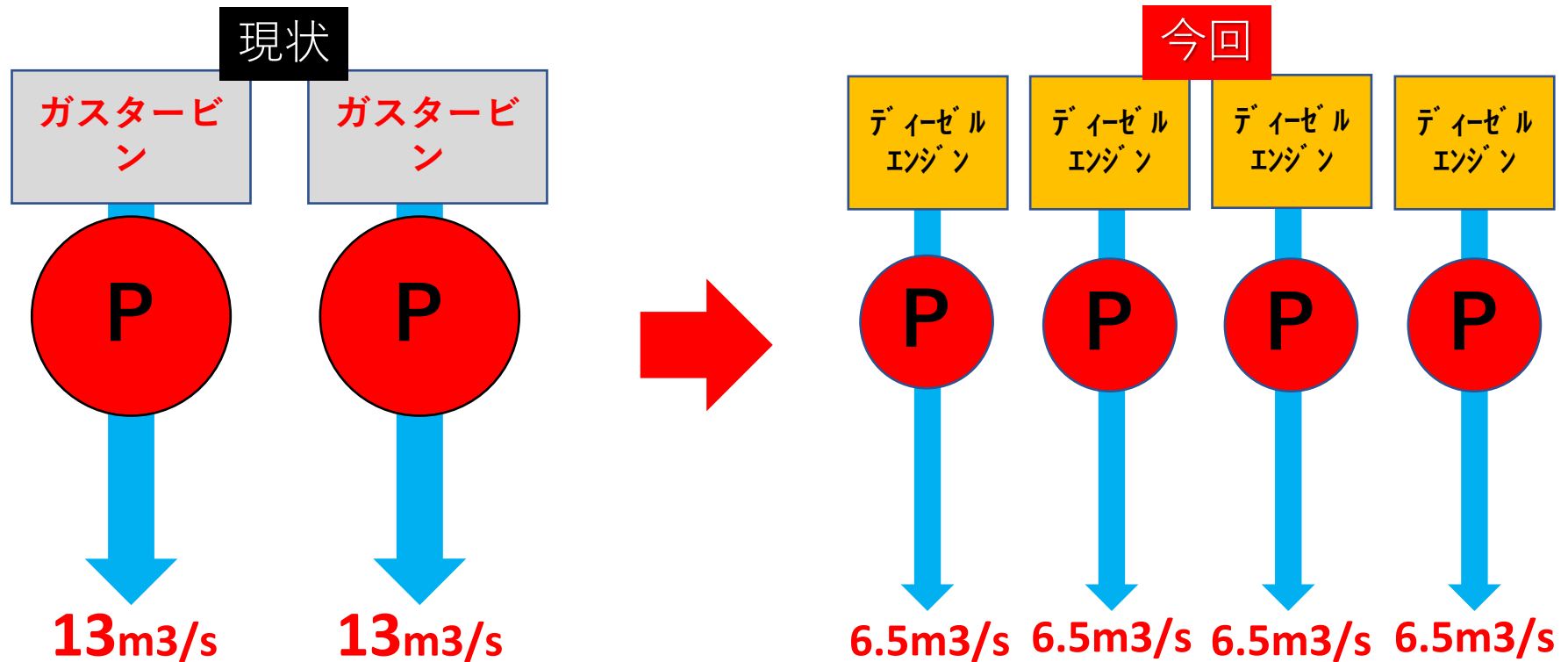
ポンプ場更新設計



耐震対策設計



◇堰堤改良事業 【佐賀導水路】 整備イメージ（ポンプ機能向上・分散化）



- ガスタービンをディーゼルエンジンに更新 → メンテナンス性の向上、維持管理費のコスト縮減
- ポンプの台数分割 → 危険分散、河川流入量への柔軟な対応など。